



台風に関するアンケート結果

回収率は42.7%、うち被害ありは41件(17.5%)と予想外に多かった。被害は強風によるもので台風15号と19号の時に発生しており、被害内容は多岐にわたっている。幸いにも人的被害はなく、多額の修理費用を要するような深刻なものではなかった。台風接近に備え、各世帯で各種の対策を取った様子が確認できた。庭やベランダの飛ばされそうなものを片付けたのをはじめ停電や断水に備える家庭が多かったようである。強風による家の被害を心配した世帯が特に南区に多く、実際に1世帯が避難しているが、被害の状況は北、中央、南で大きな差は認められない。防災メールは有用との意見があったが、パソコン・スマホがない場合の地域情報入手への不安が示され、メールを使えない方への情報伝達方法を考えてもらいたいとの要望や、大型台風用の一時避難所が必要との意見があった。寄せられた意見・要望等については今後、自主防災組織内で検討していきます。

区	北区	中央区	南区	全体
回収数	69/145	81/199	84/204	234/548
回収率	47.6%	40.7%	41.2%	42.7%
被害あり	11	11	19	41
被害ありの回収数に対する被害率	16.0%	13.6%	22.6%	17.5%
被害なし	58	70	65	
被害が出た台風				
台風15号	4	4	9	17
台風19号	6	8	7	21
台風21号	1	2	0	3
被害状況				
屋根が壊れた	3	3	2	8
ベランダが壊れた	0	0	1	1
樋が壊れた	0	1	0	0
カーポートの屋根が壊れた	1	4	4	9
塀が倒れた	0	0	0	0
植木が折れた	4	4	4	12
その他	4	2	3	9
どのような準備・対策をとったか？				
庭やベランダの置物を片付けた	62	75	76	213
雨戸をしっかり締めた	55	73	78	206
窓にテープを貼って補強した	7	17	15	39
飲み水を準備した	51	63	63	177
風呂に水を貯めた	52	58	53	163
懐中電灯やロウソクを準備した	52	70	66	188
食料を準備した	49	63	50	162
避難した	0	0	1	1
台風接近時に心配・不安であったこと				
家の被害	18	49	66	133
高圧鉄塔の倒壊	6	12	5	23
地域の被害発生状況	23	23	22	68
行政からの避難情報	13	16	19	48
その他	4		1	

詳しいアンケート結果についてはホームページをご覧ください。

救急救命講習会報告

救急救命講習会が1月26日に広岡交流センターで開催され、21名参加のもと、応急手当の基礎知識の説明、心肺蘇生の手順、AEDの使用方法の実技練習が行われました。広岡交流センターにはAEDが置いてあります。救急隊到着前に居合わせた人がAEDを使用し心肺蘇生法を実行することにより、救命の可能性および社会復帰する割合は大きく増加します。ただ、家で家族が心停止等で突然倒れた場合には、自分でAEDを取りに行っている余裕はありません。そういうときはまず119番に連絡し、救急隊が到着するまで胸骨圧迫による心肺蘇生法を続けることが重要です。胸骨圧迫は、みぞおちの上あたりを1分間に100~120回のテンポ(もしもしカメよ~カメさんよ~♪・・・のリズム)で5cm(単3乾電池1本の長さ)沈むくらいに圧迫し続けます。今回参加されなかった皆さんも、大切な人の命を守るため、積極的に講習会に参加し、最新の救急救命の技術を身につけておきましょう。



防災住民意見交換会報告

2月1日防災住民意見交換会が「経験したことのない大雨、その時どうする」をテーマに参加体験型のセミナー形式で17名が参加して開催されました。参加者が5、6人で一つのグループを作り、仮想の住んでいる場所や家の形態、家族構成をくじ引きで決め、大型台風が近づいてきて刻々と変化する気象情報を聞きながら、大雨注意報や洪水注意報が出されたり、土砂災害警戒情報が出

されたりする中、どのタイミングでどんな準備をしたらいいか、避難するとしたら、どこを歩いていつどのような方法でなど、地図を見ながらワイワイガヤガヤ話し合っただけで考えをまとめました。

最後にグループごとにまとめた考えを発表しあい、他のグループから質問が出され、そのほうがよかったなど反省点も出てきました。参加者からは今回の企画は非常に良かった、ためになった、防災意識が高まったなど大変好評でした。



桜 NT では幸い洪水で家が浸水することや、後ろの山が崩れて家が土砂で押しつぶされるということはないと思います、しかし昨年9月の台風15号では千葉県鋸南町などでは壁が飛ばされたり屋根が飛ばされたりしたうえ、70 mm/hr の雨で住むところを追われる事態となりました、さらに停電や断水が続くなど被害は地震を上回る状況だったと言えます。

桜 NT でも台風によってそのような事態にならないとも限りません、気象庁やつくば市から出される注意報や警戒情報の意味を十分理解して、取るべき行動を考えるように心がけてください。

防災士から

まもなく東日本大震災から9年がたちます、今回はちょっとしたクイズです。以下の①から④のうち、東日本大震災で釜石の奇跡を生んだ「津波てんでんこ」の教えを述べたもので、間違っているのはどれですか。



- ① 近隣相互の助け合い ② 想定にとらわれない ③ 与えられた状況で最善を尽くせ
④ 率先避難者たれ 答えは末尾にあります

「てんでんこ」とは「個人個人」の意味で、てんでんばらばらの「てんでん」です。「津波てんでんこ」は大きな地震が起きたら津波が来るから、肉親のことも考えずに、各自真っ先に逃げなさいという三陸地方に伝わる言い伝えです。利己主義的にも聞こえますが、これは「自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守る」という意味で、まさに桜 NT の防災理念そのものです。

大型台風来襲が予想されるとき避難や、大地震後の対応にも相通じるところがあります。

“山ちゃんのサバイバルノート”

今回は「洗濯」がテーマです。生活水の節約と洗濯時間の短縮が目的です。

- ① 衣類の素材：すすぎと乾かしを考えると、「綿」ではなく「化学繊維」がベストです。運動する人はお持ちの運動着がすすぎの水量も少なく済み、乾燥も早いので役に立ちます。
- ② 洗濯物の乾燥（干し）：セームタオル（水泳用タオル）は吸湿性が良いので非常に便利です。衣類をこのタオルに巻いて絞ればかなりの水分が取れます、夏ならこの方法で T シャツはすぐに着られます。（宿泊を伴う登山では、自然保護のため洗剤は使いませんがこれが有効です）
- ③ 非常用にあると便利：1) 化繊の衣類（ポリエステル製の運動着など）、ヒートテックも化学繊維です。2) セームタオル（水泳用など）3) 使い捨て下着 4) 商品として旅行用ウォッシュバックなど。5) 衣類用抗菌消臭スプレー（洗濯できない衣類にスプレーして着用できる期間を延ばす、スプレー後は天日干しする）

警視庁が勧める「ちょっとの水で洗濯する方法」も参考になります。（QRコード）



自主防災組織ホームページ <http://sakurant.org/>

桜ニュータウンの防災員として、あなたを必要としています！

※防災員としてご協力をお願いします。協力いただける方は、下記宛にお名前と班名、メールアドレス（あれば）をご連絡いただきますようお願いいたします。お待ちしております。（連絡先）副防災長 但野恭一（中央4班）
副防災長 中澤哲夫（中央1班）または 自主防災組織本部 sntbosai_hq@sakurant.org

自分の命は自分で守る 我々の街桜ニュータウンは住民みんなを守る